

# こども園評価シート (2020年度自己評価)

本庄東幼稚園

## 1、園の教育目標

- 生命の尊重
- 思いやりの心
- 自由・自立

## 2、自己評価の目標

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

## 3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
<b>元気な挨拶・返事</b> 返事をしやすい言葉かけと、子どもたちの返事に対する意識づけを行う。自ら挨拶できることの素晴らしさを話していく。	<b>C</b>	年長児はある程度達成できているが、それ以外は意識づけから不十分である。担任でなくても自分からあいさつできるよう、また返事しやすい声掛けと返事がなかったときの促しを徹底していきたい。
<b>言葉を育てる</b> みんなの前での発表経験を積み、自分の気持ちが言えるように言葉に話していく	<b>B</b>	他クラスの発表の状況を知りたいという職員もあり、職員間のコミュニケーション不足を解消したい。年齢が上がるにつれ達成度は高くなっているため、自分の気持ちの発表を行う機会があってもよい。
<b>自主性・主体性を育てる</b> 指示を出しすぎず、自分の判断で行動できるような環境づくりや声掛け・活動への取り組みを作っていく	<b>B</b>	学年や園児による差はあるが、達成できている園児も増えている。一方で職員の声掛けが自分で判断できるような内容の『つもり』なだけで、実際は伝わっていないこともある。園児が考えているときに指示を出してしまわないようきをつけたい。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	ある程度達成されている
C	取り組まれているが、達成度は低い
D	取組が不十分である

## 4、総合的な評価結果

結果	理由
<b>B</b>	全体的には明るくのびのび育っているものの、保育者側の目線が優先されたり取り組んでいるつもりになってしまっていることも多い。

## 5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
声掛けの工夫	個々の子どもの気持ちを受け止め、分かりやすく、やる気を引き出す声掛けを意識していく。
情報の共有	コロナ禍でクラス間交流が少なくても、職員1人1人が園全体を見据えた上で自分のクラス経営をするため、職員同士の話し合いを積極的に行う。
挨拶・返答	質問に対して答えられる雰囲気作りと、園児が自ら挨拶できるための手本を職員が明るく元気に行う。